

### コミュニティアーキテクトの実践と可能性 ～地域の人と共に醸成していくプロセスづくり～

**会場** 日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス 37号館 101教室 (千葉県習志野市泉町 1-2-1)  
**日時** 2012年3月28日(水) 17:00~20:00

東日本大震災後の状況や人々の価値観の変化を踏まえて、「地域継承空間システムを尊重する都市・地域空間形成計画手法の再構築」は、持続可能なまちづくり(SAD)の観点から、時間の流れの中で培われてきた地域環境、豊かな街並みの形成や景観の保全・継承に加えて、地域の防災(安心・安全)という側面からも、継続的参加が可能なコミュニティアーキテクト(CA)が担い手として求められています。今、サステナブルエリアデザイン(SAD)を担うコミュニティアーキテクト(CA)の活動とそれを支える組織づくりが必要であり、地域主体の活動・組織づくりに向けて地域社会と緩やかな関係を創出する必要があります。コミュニティを活動拠点として、地域の歴史・文化、自然、環境、街並み、社会システム(医療、福祉、教育等)などを含み込んだ総合的な建築・まちづくりをコミュニティアーキテクト(CA)が担うこととなります。建築や街や空間を使う側が積極的に参加することによって建築・居住環境を創造し、これからのまちづくりについて議論を深め、幅広い連携が可能となる創造的プラットフォームづくりとその体系化を展開していきたいと考えています。

#### プログラム

司会・コーディネート 川岸梅和(日本大学、SAD&CA千葉WG)・太田安則(SAD&CA千葉WG)  
海老塚良吉(SAD&CA千葉WG)・成岡茂(SAD&CA千葉WG)  
副司会・記録 北野幸樹(日本大学、SAD&CA千葉WG)

#### 基調講演

**藤本昌也**(社団法人 日本建築士会連合会 会長、株式会社 現代計画研究所 代表取締役会長)  
「(仮称)コミュニティアーキテクトの実践と可能性」

#### 事例報告

**高橋賢一**(NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会 代表)  
「(仮称)大震災と持続可能な取り組み 佐原の今」

**福田百合**(社団法人 千葉県観光物産協会 地域元気アップチーム チームリーダー)  
「(仮称)千葉エリアにおけるまちづくり(千葉県の取り組み)」

#### パネルディスカッション

##### パネリスト

**藤本昌也**(社団法人 日本建築士会連合会 会長、株式会社 現代計画研究所 代表取締役会長)  
**高橋賢一**(NPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会 代表)  
**福田百合**(社団法人 千葉県観光物産協会 地域元気アップチーム チームリーダー)

##### コメンテーター

**麓 佳正**(社団法人 日本建築学会 千葉支所長)

**共催** 日本建築学会千葉支所、サステナブルエリアデザインとコミュニティアーキテクト千葉WG

**後援** 千葉県、我孫子市、市川市、柏市、香取市、鎌ヶ谷市、鴨川市、館山市、千葉市、流山市、習志野市、船橋市  
NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 他(予定)

**資料代・参加費** 一般 1,000円  
学生 500円

#### お問合せ

SAD&CA千葉WG  
日本大学 生産工学部 川岸研究室  
E-mail: kitano.koki@nihon-u.ac.jp  
TEL: 047-474-2489(北野)

#### アクセス

- JR津田沼駅下車  
北口4番バス乗場(京成バス)乗車  
日大生産工学部下車  
(所要時間約15分)
- 京成大久保駅(京成電鉄)下車  
徒歩約10分

